

2011年12月号  
No.506

# りゅうぎん調査

2011年12月号

Bank of the Ryukyus'  
Okinawan Economic Review

No.506



琉球銀行



りゅうぎん総合研究所

## 県内の景気動向

概況（2011年10月）

景気は、持ち直しの動きがみられる

観光関連では、入域観光客数が前年を上回る

消費関連では、新車販売が前年を上回る

10月の県内景気をみると、消費関連では、スーパー（全店）が新設店効果から引き続き前年を上回り、新車販売がエコカー補助金制度の反動の一巡などから前年を上回った。建設関連では、県内主要建設会社の受注額が前年を上回り、建設資材で、セメント、生コン、木材出荷が前年を上回った。入域観光客数は、修学旅行の振替需要や世界のウチナーンチュ大会の開催などから前年を上回った。主要ホテルの稼働率は、那覇市内、リゾートともに上昇したことから前年を上回り、売上高も前年を上回った。

総じてみると、観光関連が弱含んでいるものの、建設関連は一部で持ち直しの動きがみられ、消費関連の一部に堅調な動きがみられることから、県内景気は持ち直しの動きがみられる。

### 消費関連

百貨店売上高は、衣料品は増加し、食料品も前年開催された催事の時期が異なること（前年は9月、今年は10月）などから増加し3カ月ぶりに前年を上回った。スーパー売上高（既存店）は、買い上げ点数が減少したことなどから3カ月連続で前年を下回った。全店ベースでは新設店効果などから13カ月連続で前年を上回った。新車販売は、エコカー補助金制度の反動が一巡したことなどから13カ月ぶりに前年を上回った。電気製品卸売販売は、地上デジタル放送に完全移行したことによりテレビが減少したことなどから3カ月連続で前年を下回った。

先行きは、底堅い中、一部に堅調な動きが続くものとみられる。

### 建設関連

公共工事請負金額は、国が大幅に減少したことから2カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから3カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、生コン、セメントともに前年を上回った。鋼材は、前年の大口案件向け出荷の反動などから3カ月連続で前年を下回った。木材は、戸建て向け出荷の増加などから4カ月連続で前年を上回った。

先行きは、弱含みの中、一部に持ち直しの動きが続くものとみられる。

### 観光関連

入域観光客数は、修学旅行の振替需要や世界のウチナーンチュ大会の影響などから、国内客、外国客が増加し、11カ月ぶりに前年を上回った。県内主要ホテルは、稼働率は那覇市内、リゾートがともに上昇し、9カ月ぶりに前年を上回った。売上高も那覇市内、リゾートともに増加し12カ月ぶりに前年を上回った。主要観光施設入場者数は、2カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場入場者数は、4カ月連続で前年を上回った。

先行きは、修学旅行の振替需要などから、持ち直しの動きとなるものとみられる。

### 雇用関連

新規求人数（9月）は前年同月比3.3%増と2カ月連続で増加し、有効求人倍率（季調値）は0.27倍と前月より上昇した。完全失業率（季調値、9月）は6.5%と前月から0.8ポイント改善した。

### その他

消費者物価指数は、食料、住居、光熱・水道、交通・通信、被服・履物などが上昇したことから、前年同月比0.5%増と7カ月連続で前年を上回った。企業倒産は、件数が5件と前年同月と同数となり、負債総額は2億8,500万円となり前年同月比56.9%の減少となった。

# りゅうぎん調査(2011年10月)

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2011.8 - 2011.10)
<b>1.消費関連</b>		
(1)百貨店(金額)	9.6	1.1
(2)スーパー(既存店)(金額)	0.8	1.6
(3)スーパー(全店)(金額)	1.4	0.7
(4)新車販売(台数)	11.9	9.4
(5)電気製品卸売(金額)	24.6	19.0
<b>2.建設関連</b>		
(1)公共工事請負金額(金額)	17.4	6.5
(2)建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(9月) 7.7	(7-9月) 9.7
(3)新設住宅着工戸数(戸)	(9月) 3.4	(7-9月) 6.7
(4)建設受注額(金額)	38.8	6.3
(5)セメント(トン数)	4.3	5.0
(6)生コン(m <sup>3</sup> )	2.9	2.8
(7)鋼材(金額)	7.8	3.1
(8)木材(金額)	6.8	13.7
<b>3.観光関連</b>		
(1)入域観光客数(人数)	4.5	2.3
(2)県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 1.8 (実数) 74.4	(前年同期差) 1.1 (実数) 80.6
(3) " 売上高(金額)	0.6	4.7
(4)観光施設入場者数(人数)	10.3	3.5
(5)ゴルフ場入場者数(人数)	8.9	4.7
(6) " 売上高(金額)	6.0	1.5
<b>4.その他</b>		
(1)県内新規求人数(人数)	(9月) 3.3	(7-9月) 6.4
(2)有効求人倍率(季調値)	(実数、9月) 0.27	(実数、7-9月) 0.27
(3)消費者物価指数(総合)	0.5	0.9
(4)企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 0	(前年同期差) 1.7
(5)広告収入(県内マスコミ)(金額)	(9月) 0.1	(7-9月) 1.8
(6)電力使用量(百万Kwh)	(9月) 4.1	(7-9月) 0.9

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。

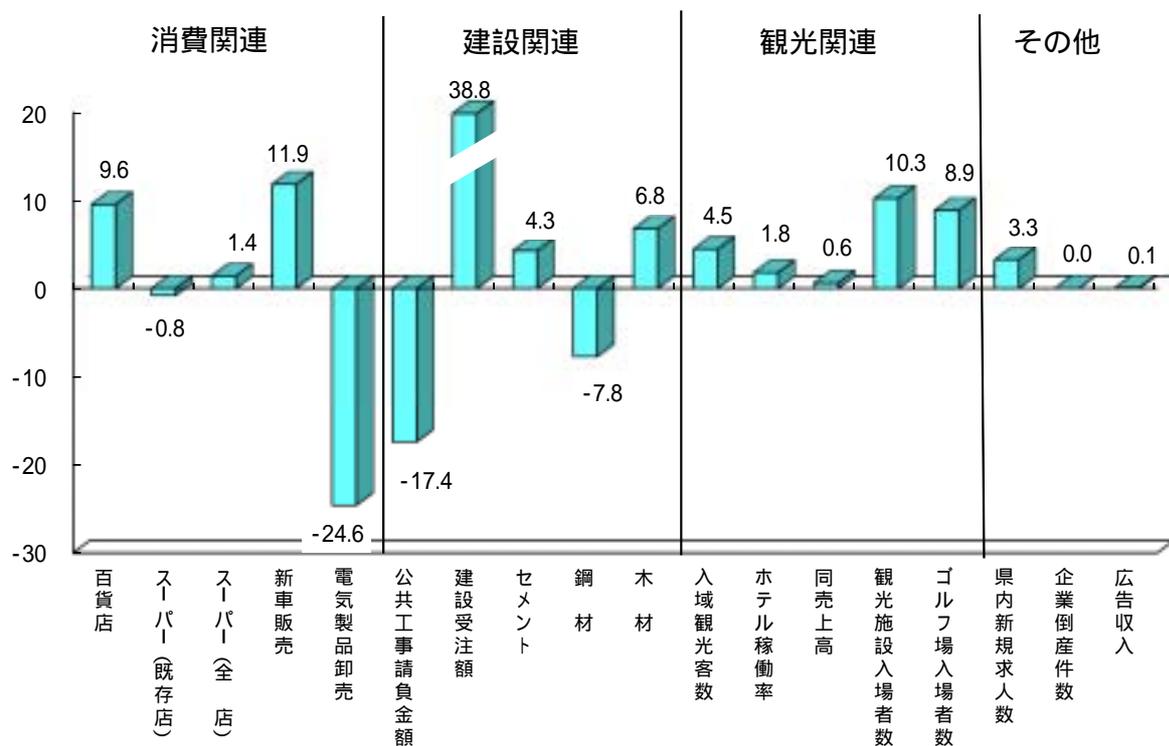
(注2) 電気製品卸売は、2010年4月より調査先を7社から4社とした。

(注3) 主要ホテルは、2010年9月より調査先を18ホテルから19ホテルとした。

(注4) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先を6施設から5施設とした。

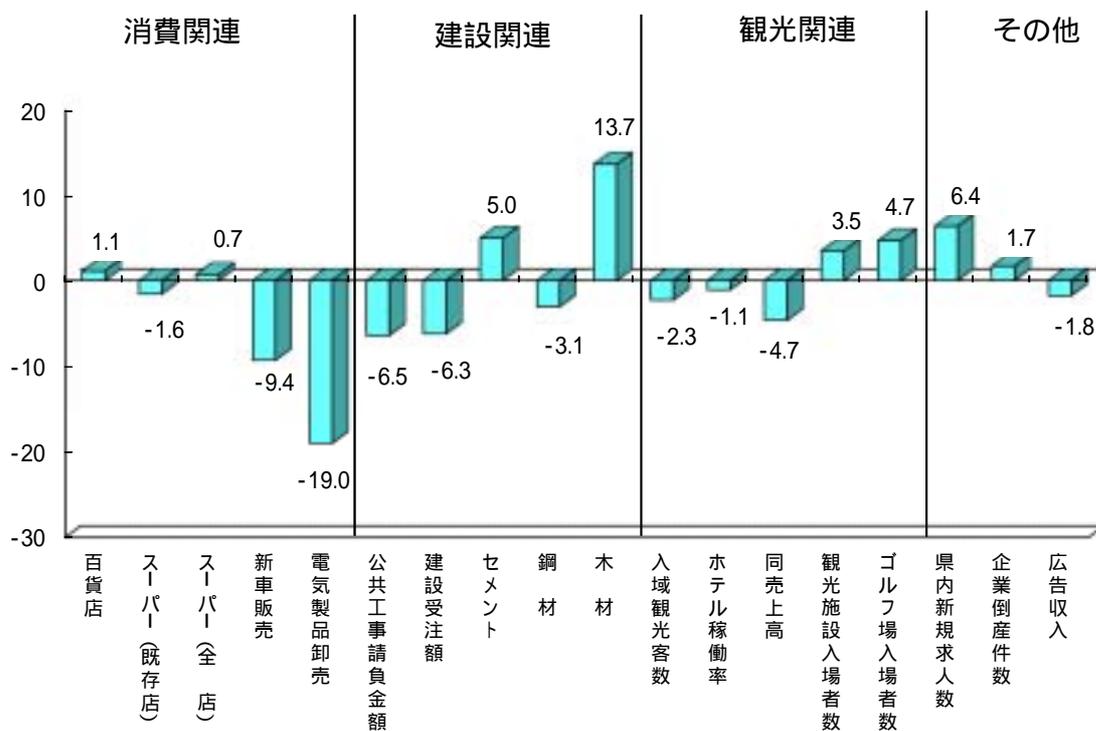
(注5) 企業倒産件数の前年同期差は、月平均件数の前年同期差。

項目別グラフ(単月、2011年10月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は11年9月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

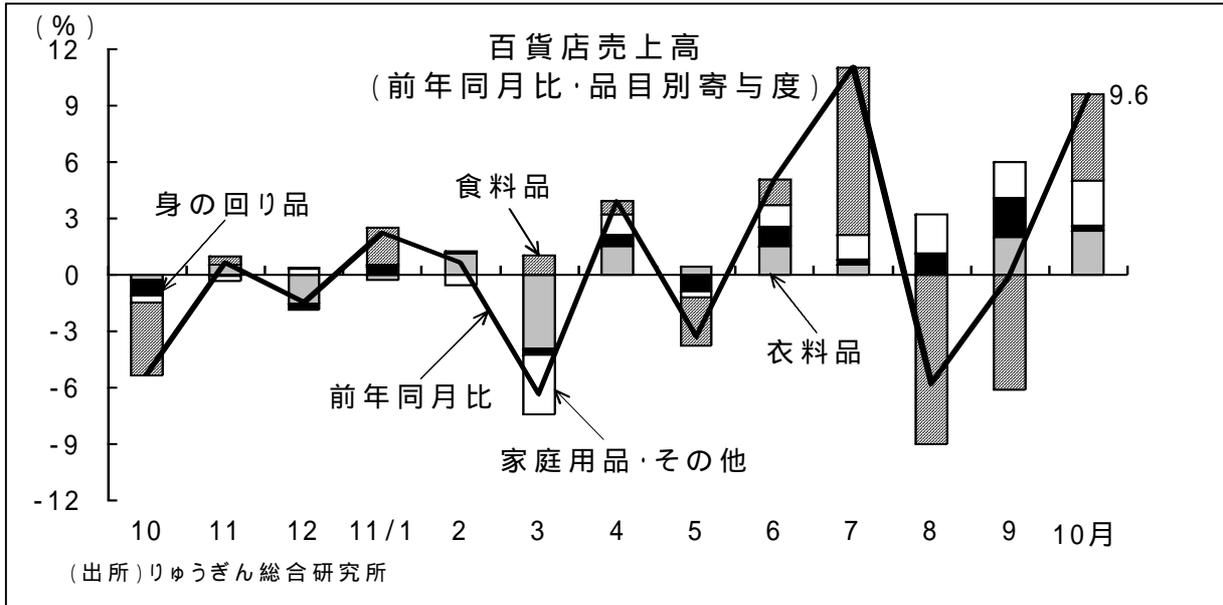
項目別グラフ(3カ月、2011年8~10月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は11年7~9月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

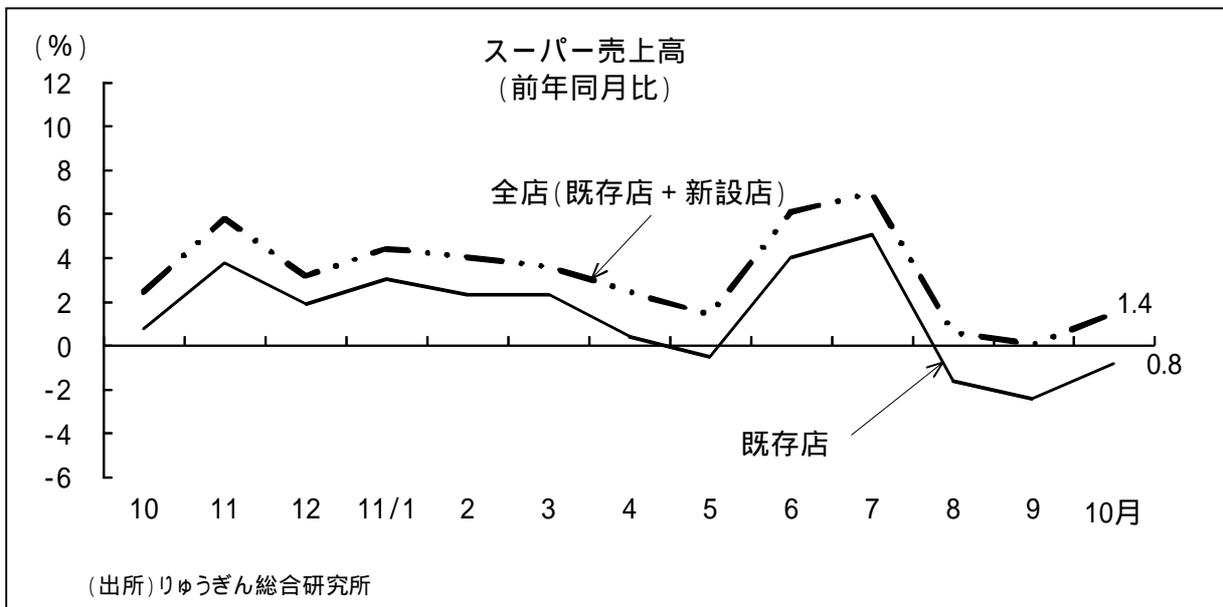
# 1. 消費関連

## (1) 百貨店売上高：3カ月ぶりに増加



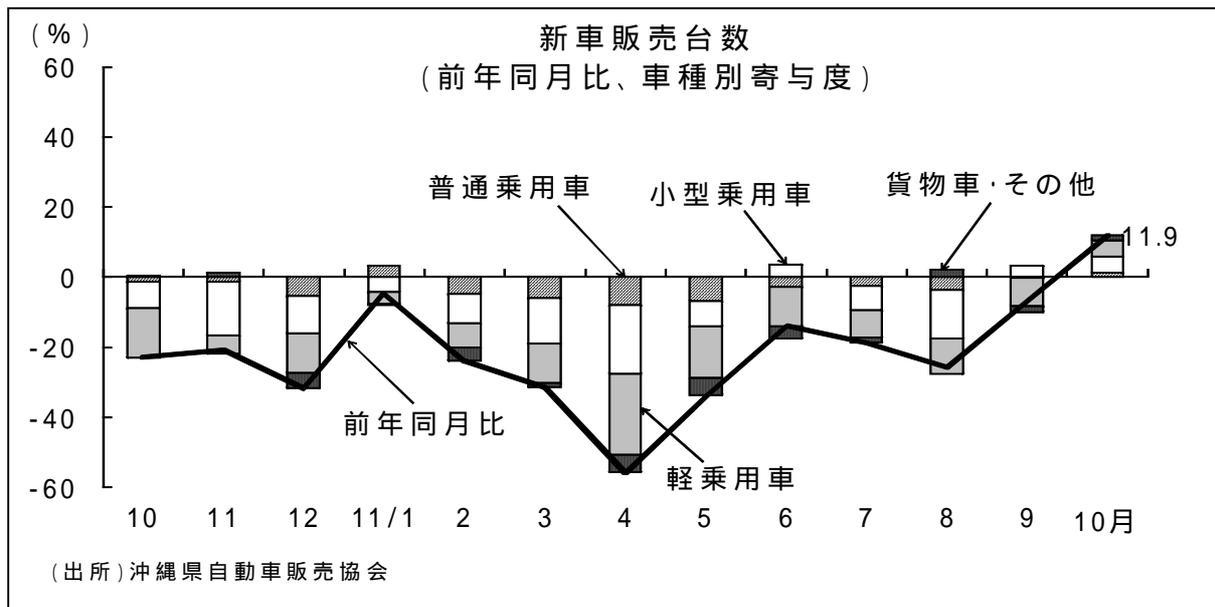
- 百貨店売上高は、一部店舗での衣料品フロアのリニューアルオープン効果が続いていることから衣料品などが増加し、前年開催された催事の時期が異なること（前年は9月、今年は10月）から食料品も増加したことなどより前年同月比9.6%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- 品目別にみると、衣料品（同6.0%増）、身の回り品（同2.7%増）、家庭用品・その他（同10.1%増）、食料品（同17.1%増）が増加した。

## (2) スーパー売上高：全店ベースは13カ月連続で増加



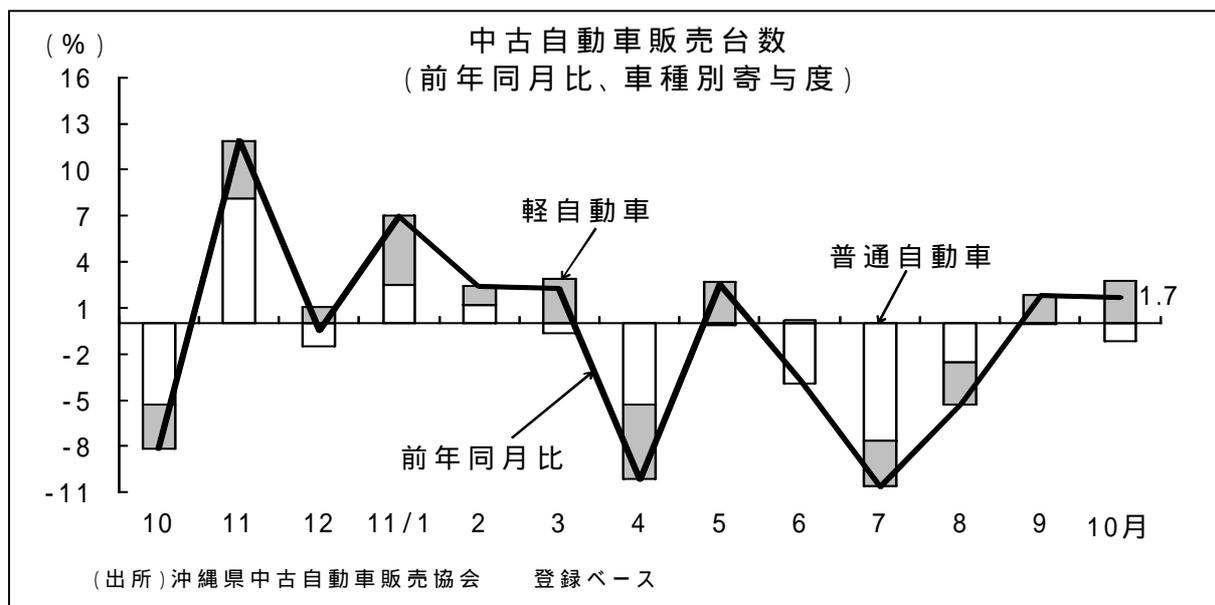
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比0.8%減と3カ月連続で前年を下回った。
- 買い上げ点数が減少したことなどから食料品は同0.1%減となり、前年より気温が低下したことなどから衣料品は同2.0%増となった。家電を含む住居関連は同5.0%減となった。
- 全店ベースは、新設店効果などから同1.4%増と13カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：13カ月ぶりに増加



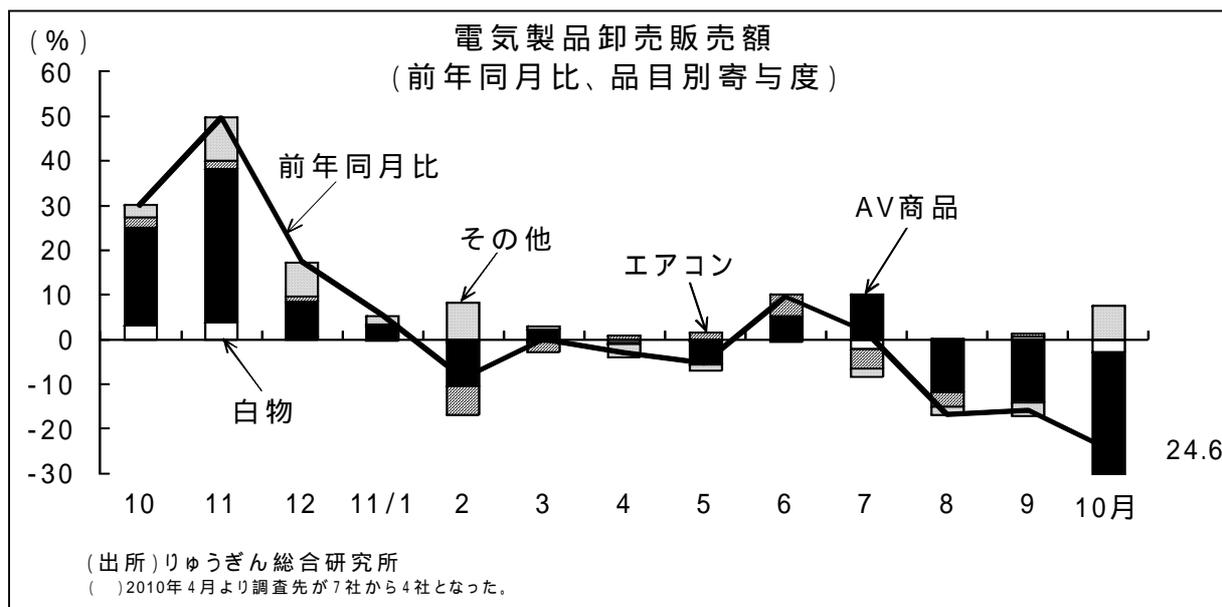
- ・ 新車販売台数は2,627台となり、エコカー補助金制度の反動が一巡したことなどにより前年同月比11.9%増と13カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 普通自動車(登録車)は1,066台(同18.1%増)で、うち普通乗用車は349台(同9.7%増)、小型乗用車は587台(同22.8%増)であった。軽自動車(届出車)は1,561台(同8.0%増)で、うち軽乗用車は1,264台(同9.2%増)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：2カ月連続で増加



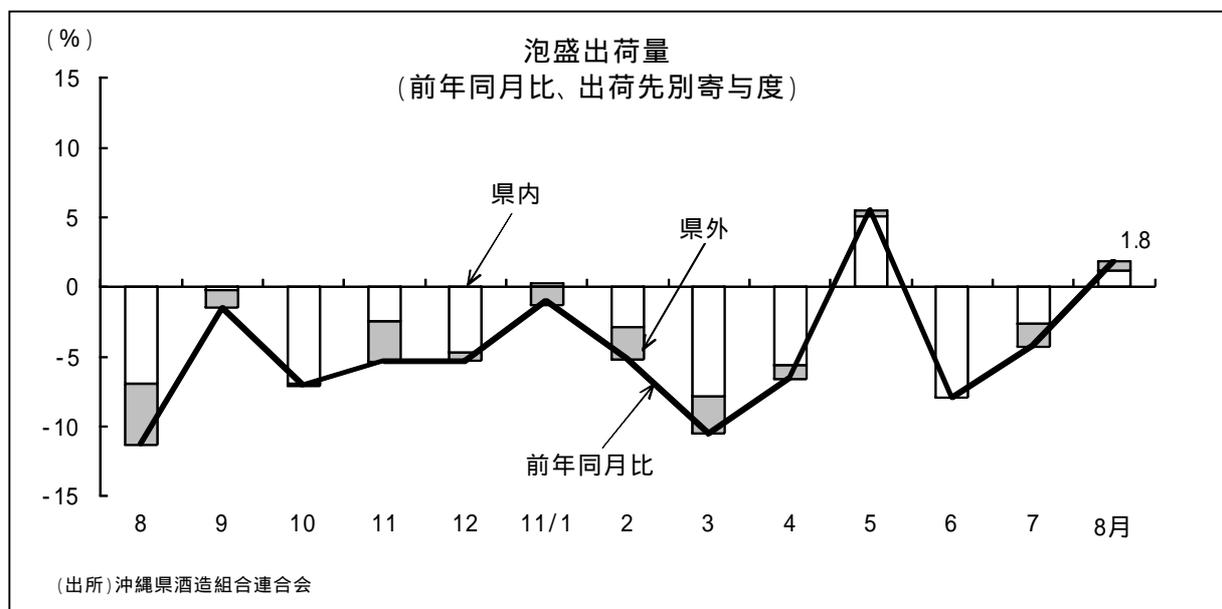
- ・ 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は、前年同月比1.7%増となり2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は同2.4%減、軽自動車は同5.3%増となった。

(5) 電気製品卸売販売額：3カ月連続で減少



- ・ 電気製品卸売販売額は、地上デジタル放送に完全移行したことによりテレビが減少に転じたことなどから前年同月比 24.6%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 品目別にみると、AV商品ではテレビが同 75.9%減、DVDレコーダーが同 45.7%減、白物では洗濯機が同 17.5%減、冷蔵庫が同 25.2%減、エアコンが同 24.1%減、その他は同 18.1%増となった。

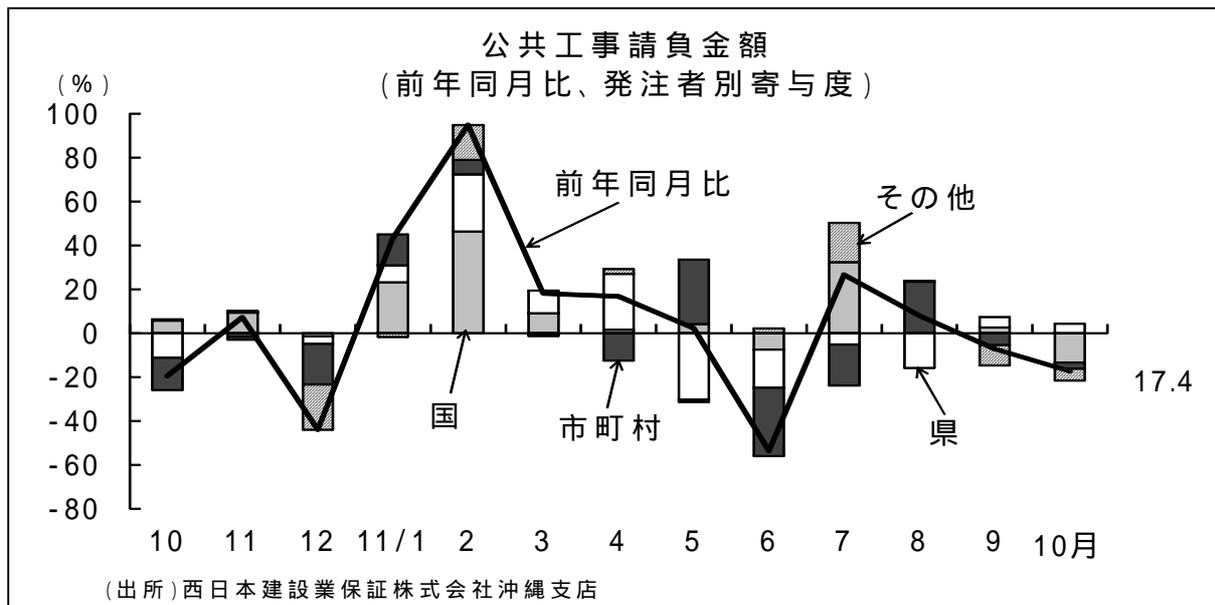
(6) 泡盛出荷量 (速報ベース)：3カ月ぶりに増加



- ・ 泡盛出荷量 (8月) は、前年同月比 1.8%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 県内出荷量は同 1.4%増となり、県外出荷量は同 0.4%増となった。

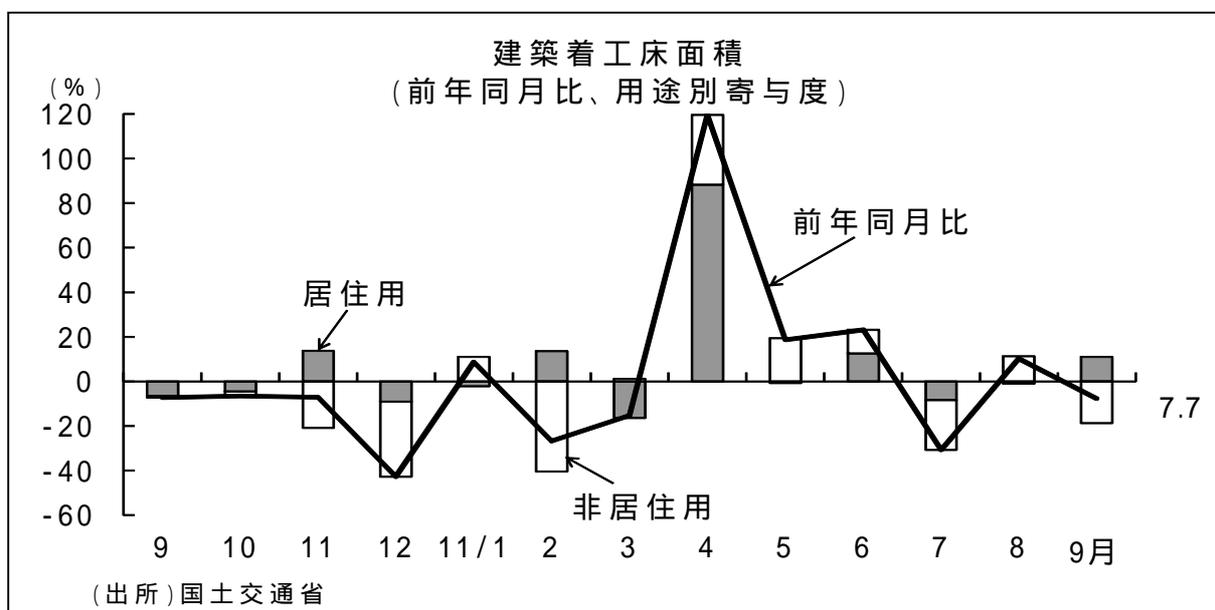
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：2カ月連続で減少



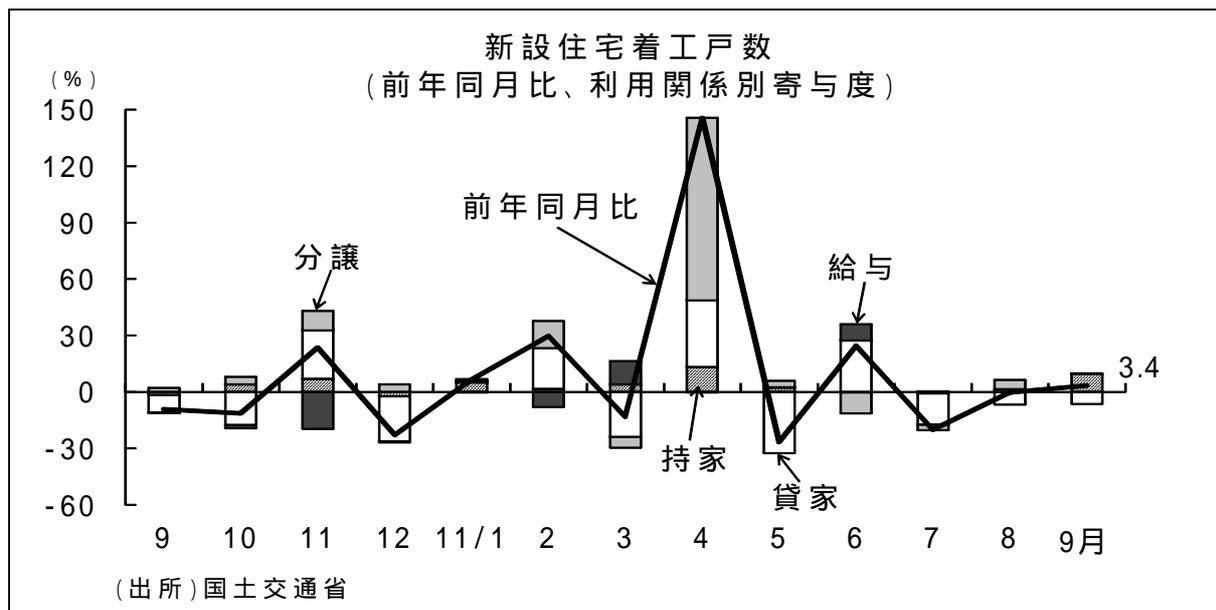
- 公共工事請負金額は、208億3,600万円の前年同月比17.4%減となり、国発注工事が大幅に減少したことなどから、2カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、県(同15.5%増)が増加し、国(同46.0%減)、市町村(同8.2%減)、独立行政法人等・その他(同60.4%減)が減少した。
- 大型工事としては、平成23年度饒波高架橋上部工工事、県営与那原団地建替工事(第1期)、与那原東小学校校舎改築工事(建築1、2工区)などがあった。

### (2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに減少



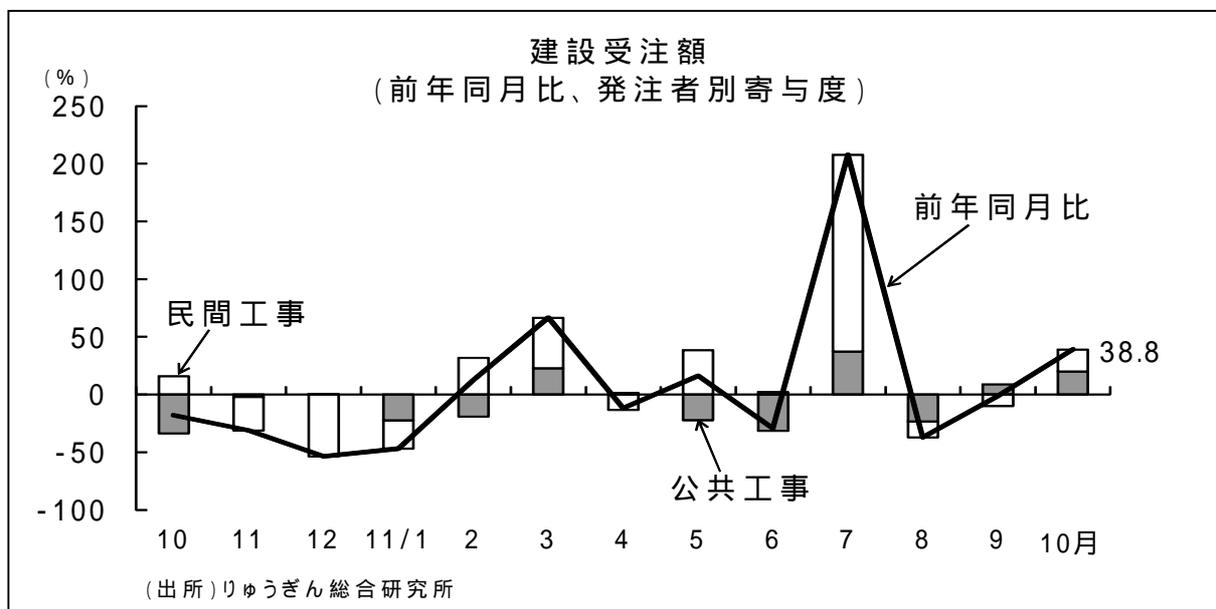
- 建築着工床面積(9月)は、12万9,625㎡の前年同月比7.7%減となり、非居住用が減少したことなどから、2カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用が同23.2%増となり、非居住用が同35.3%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、製造業用、運輸業用などが増加し、公務用、教育・学習支援業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：3カ月ぶりに増加



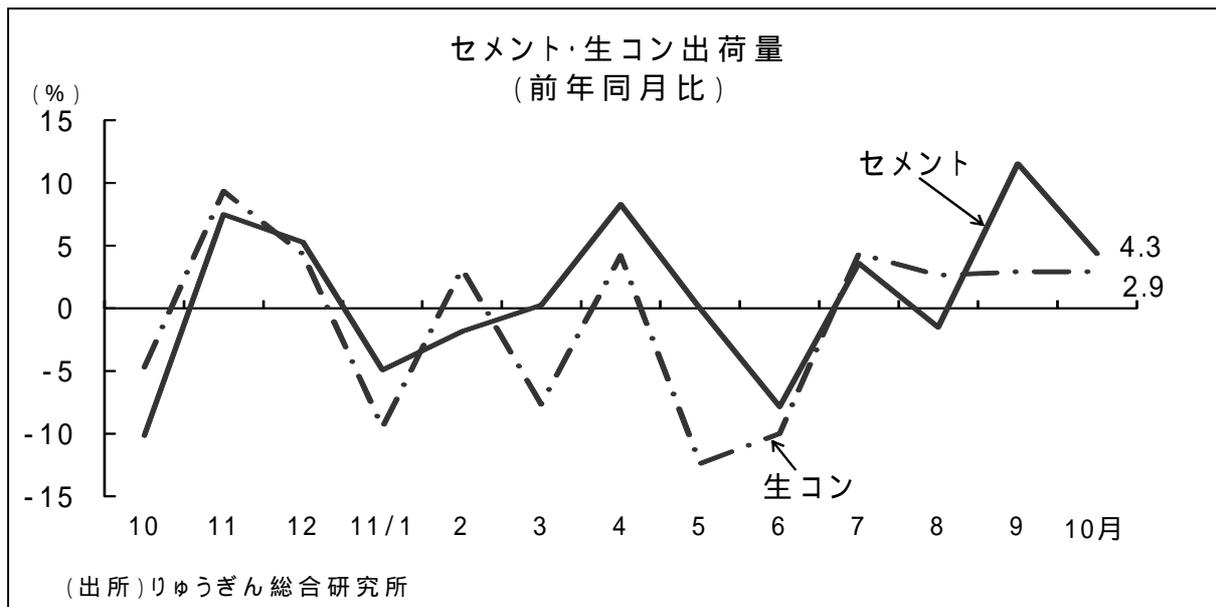
- ・ 新設住宅着工戸数（9月）は903戸となり、貸家が減少したものの、持家が増加したことから、前年同月比3.4%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（同47.7%増）、分譲（同7.3%増）が増加し、貸家（同8.5%減）が減少した。給与は前年と同水準であった。

(4) 建設受注額：3カ月ぶりに増加



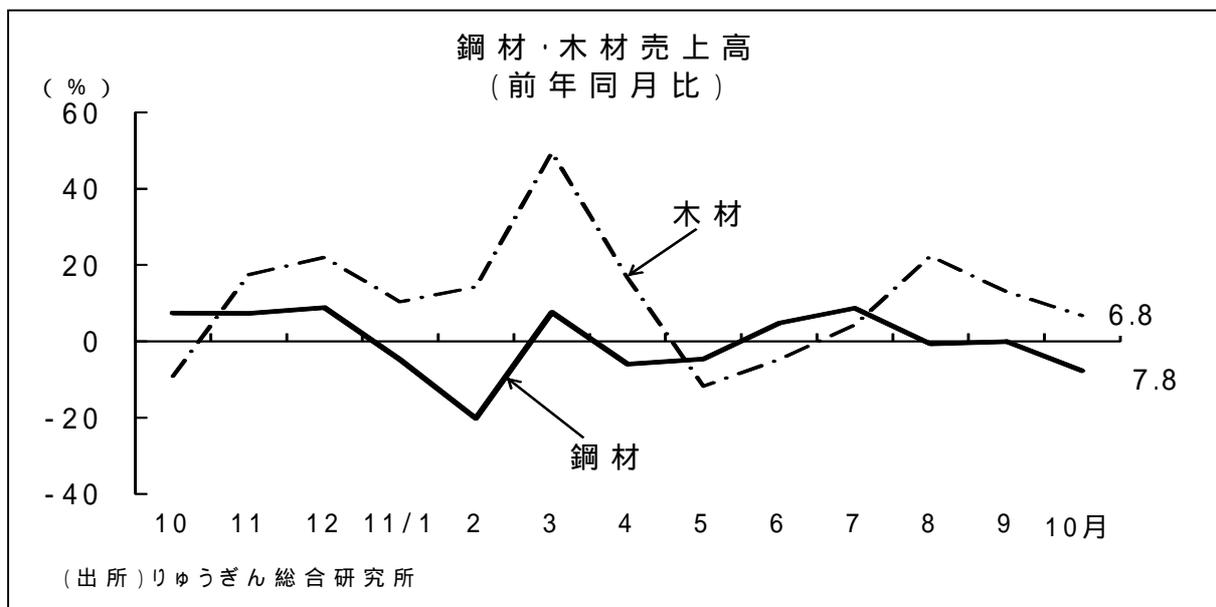
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：20社）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比38.8%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同94.1%増）は2カ月連続で増加し、民間工事（同24.0%増）は3カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは2カ月連続で増加、生コンは4カ月連続で増加



- ・セメント出荷量は、6万2,906トンとなり前年同月比4.3%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・生コン出荷量は、13万9,424m<sup>3</sup>で同2.9%増と4カ月連続で前年を上回った。公共工事向け出荷は減少したが、民間工事向け出荷は増加した。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、学校関連工事向けなどが増加し、一般土木、防衛省関連工事向けなどが減少した。民間工事では、商業施設や医療関連工事向けなどが増加し、社屋関連や電力関連工事向けなどが減少した。

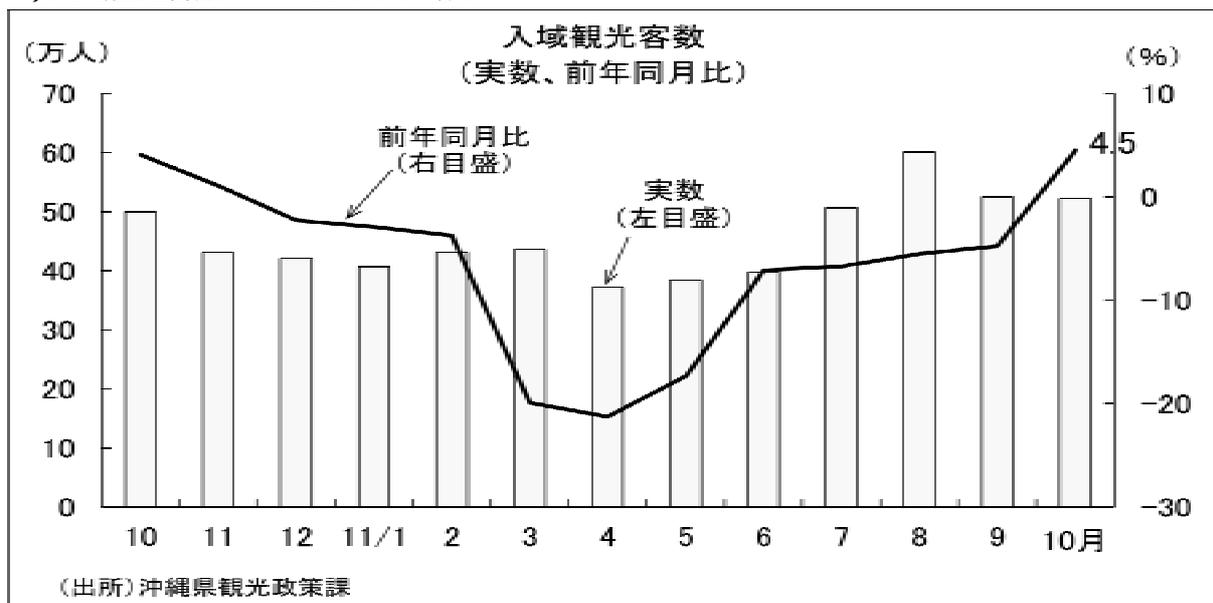
(6) 鋼材・木材：鋼材は3カ月連続で減少、木材は4カ月連続で増加



- ・鋼材売上高は、前年の大口案件向け出荷の反動などから、前年同月比7.8%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、戸建て向け出荷が引き続き増加したことなどにより、同6.8%増と4カ月連続で前年を上回った。

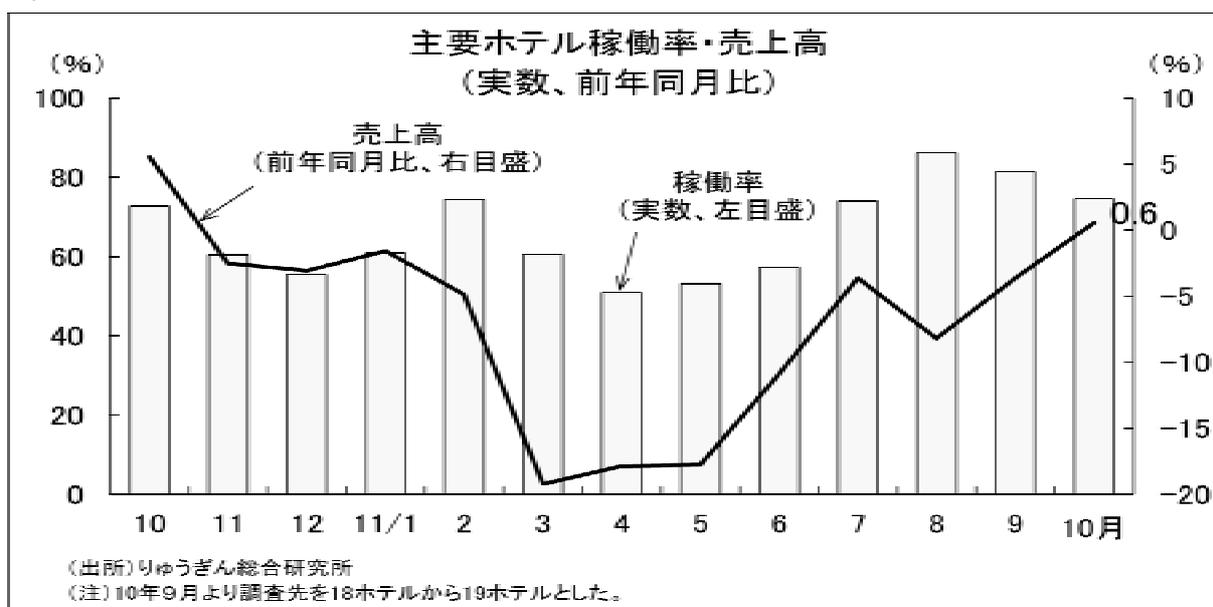
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数：11カ月ぶりに増加



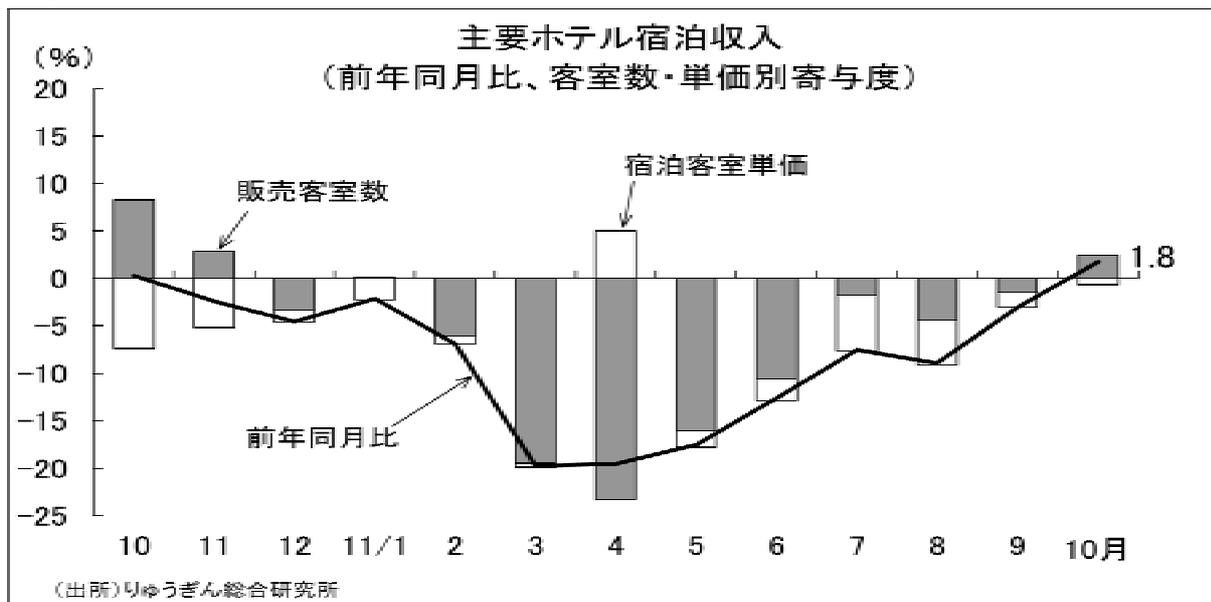
- 入域観光客数は52万2,200人で、前年同月比4.5%増となり、11カ月ぶりに前年を上回った。修学旅行の振替需要、また世界ウチナーンチュ大会や海外航空路線の増便などから、国内客、外国客がともに増加した。国内客は関西、福岡方面、外国客は中国、台湾、香港などからの入域が増加した。
- 空路入域客数は、国内客、外国客がともに増加し、49万9,300人(同3.8%増)と、11カ月ぶりに前年を上回った。海路入域客数は、国内客は前年と同水準だったが、外国客が大幅に増加し、2万2,900人(同22.5%増)と、4カ月ぶりに前年を上回った。
- 11月1日～20日の本土発沖縄向け航空旅客輸送実績(スカイマークエアラインを除く)は前年同月比3.6%増となり、12カ月ぶりに前年を上回った。

#### (2) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は9カ月ぶりに上昇、売上高は12カ月ぶりに増加



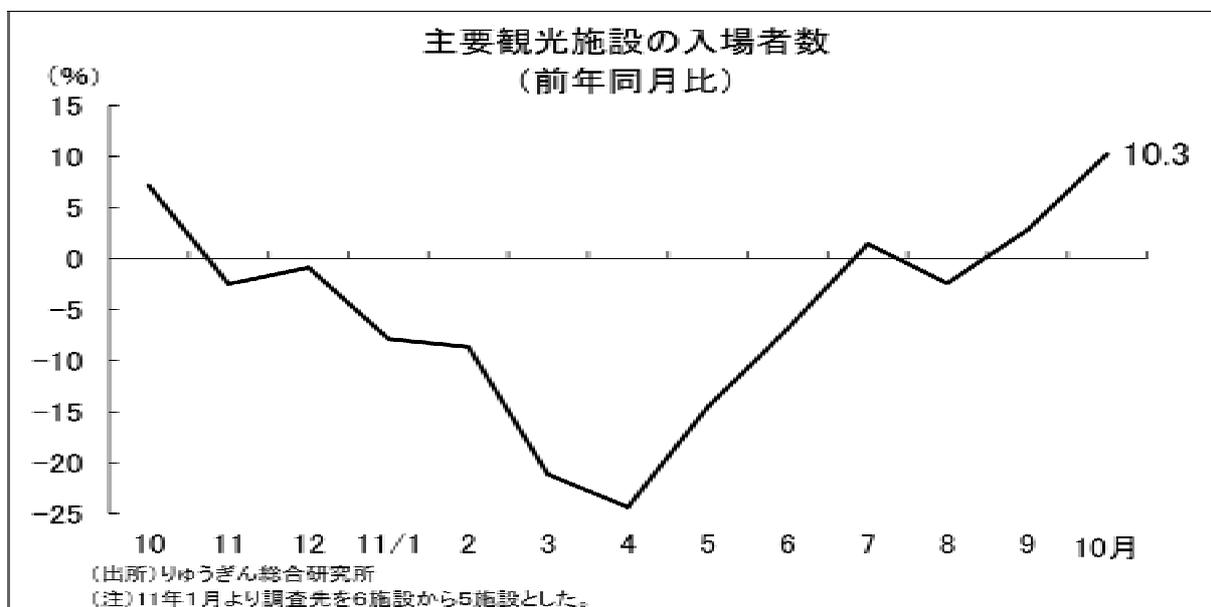
- 主要ホテルは、客室稼働率は74.4%と前年同月比1.8%ポイント上昇し9カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同0.6%増加し12カ月ぶりに前年を上回った。
- 那覇市内ホテルは、客室稼働率70.8%と同4.3%ポイント上昇し、売上高は同1.0%増加した。リゾート型ホテルは、客室稼働率76.8%で同0.2%ポイント上昇し、売上高は同0.4%増加した。

(3) 主要ホテル宿泊収入：12カ月ぶりに増加



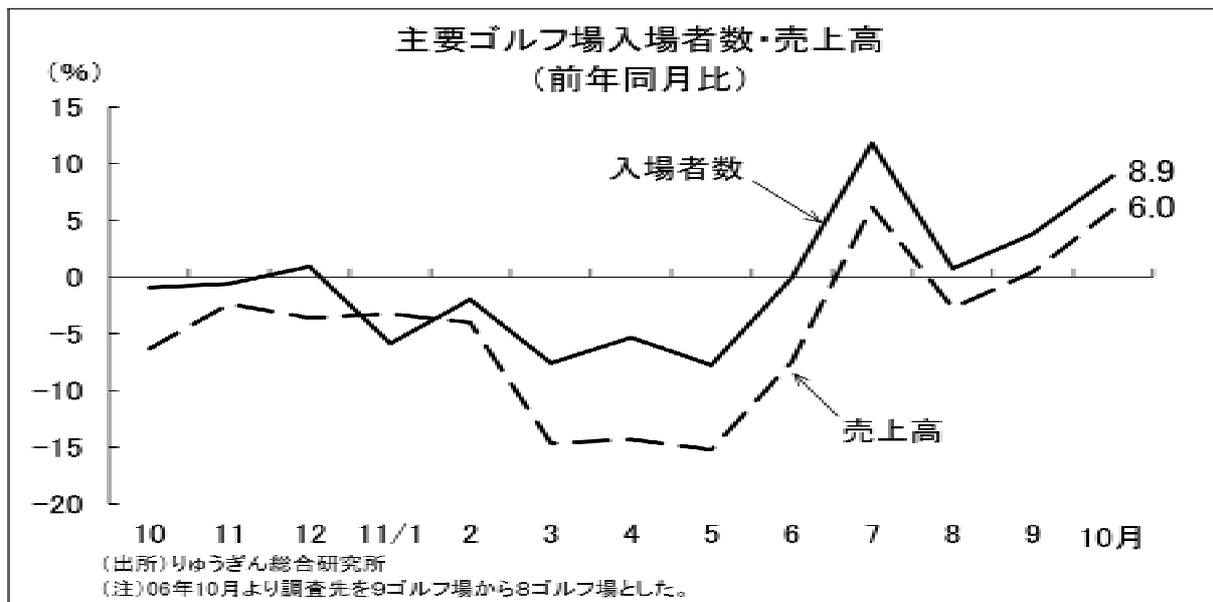
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入についてみると、宿泊客室単価（価格要因）は減少したが、販売客室数（数量要因）が9カ月ぶりに増加し、前年同月比1.8%増と、12カ月ぶりに前年を上回った。

(4) 主要観光施設の入場者数：2カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比10.3%増となり、2カ月連続で前年を上回った。

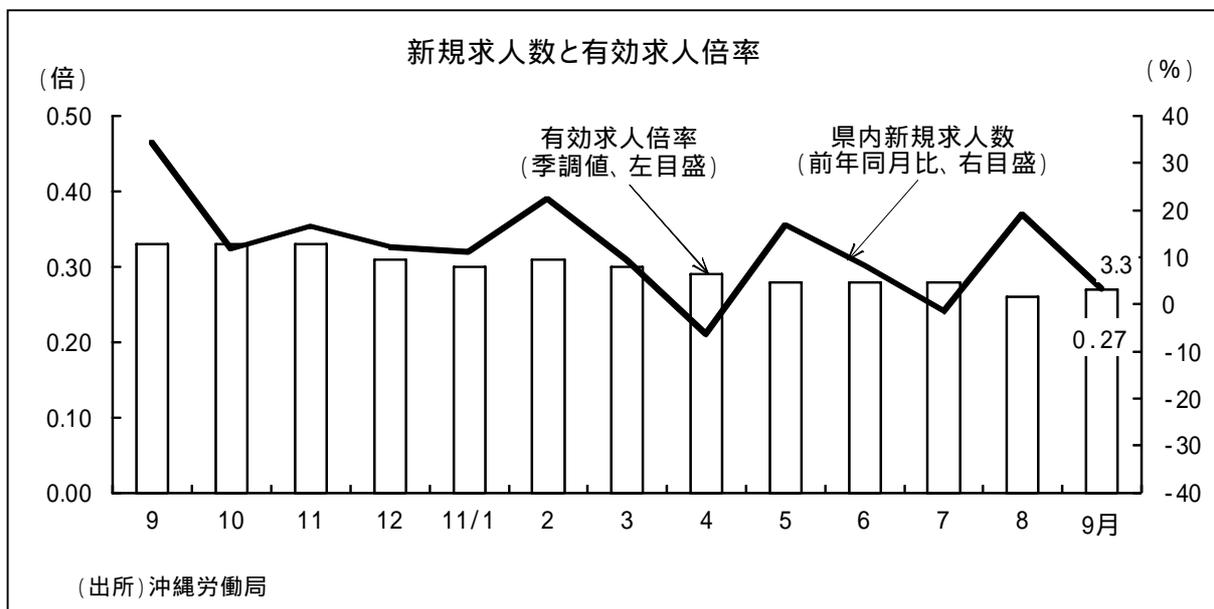
(5) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は4カ月連続で増加、売上高は2カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、県外客、外国客が大幅に増加したことなどから、前年同月比 8.9%増と4カ月連続で前年を上回った。売上高は、単価は引き続き減少しているものの、入場者数が増加したことから、同 6.0%増となり、2カ月連続で前年を上回った。

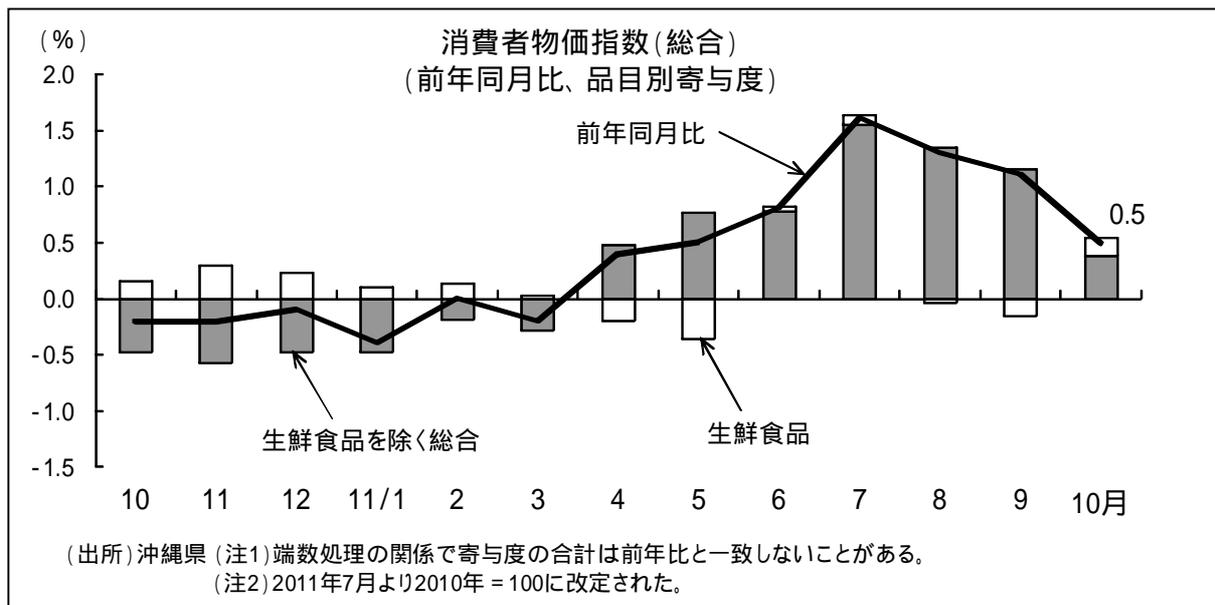
## 4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は上昇



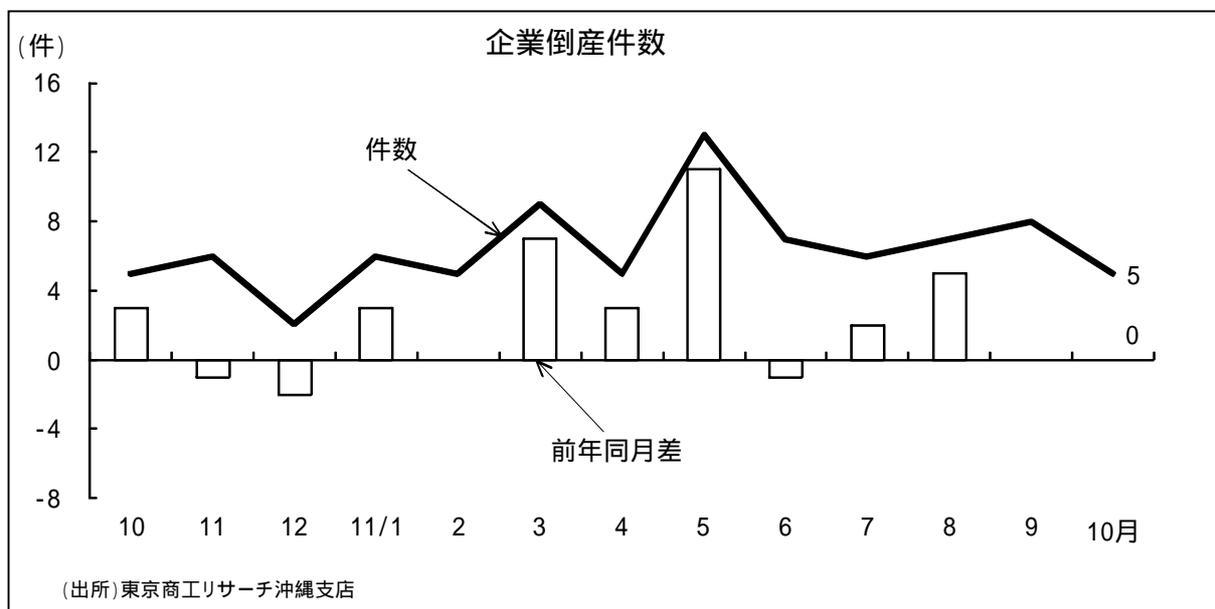
- ・ 新規求人数（9月）は、前年同月比 3.3%増となり2カ月連続で増加した。産業別にみると、運輸、郵便業、サービス業、医療、福祉業、卸売業、小売業、建設業などで増加し、生活関連サービス業、娯楽業、製造業、宿泊業、飲食サービス業、情報通信業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 0.27 倍となり、前月より上昇した。
- ・ 労働力人口（9月）は、67 万 1,000 人で同 0.3%減となり、就業者数は、62 万 7,000 人で同 1.3%増となった。完全失業者数は 4 万 4,000 人で同 18.5%減となった。完全失業率（季調値）は 6.5%と前月より 0.8 ポイント改善した。

( 2 ) 消費者物価指数 ( 総合 ) : 7 カ月連続で上昇



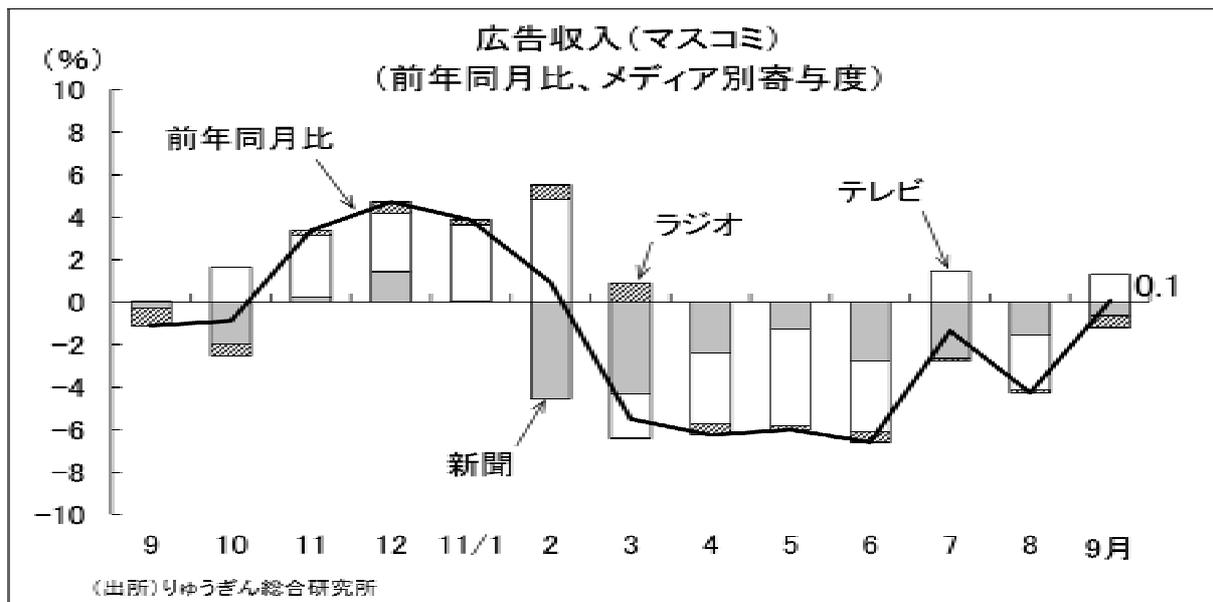
- ・ 消費者物価指数は、前年同月比 0.5%増と7カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合も、同0.4%増と上昇した。
- ・ 品目別の動きをみると、食料、住居、光熱・水道、被服・履物、交通・通信、教育などが上昇し、家具・家事用品、保健医療、教養娯楽、諸雑費などが下落した。

( 3 ) 企業倒産 : 件数は同数、負債総額は減少



- ・ 倒産件数は5件となり前年同月と同数となった。業種別では、製造業1件(同1件増)、建設業2件(同2件減)、小売業1件(同数)、不動産業1件(同1件増)であった。
- ・ 負債総額は2億8,500万円となり、前年同月比56.9%の減少となった。

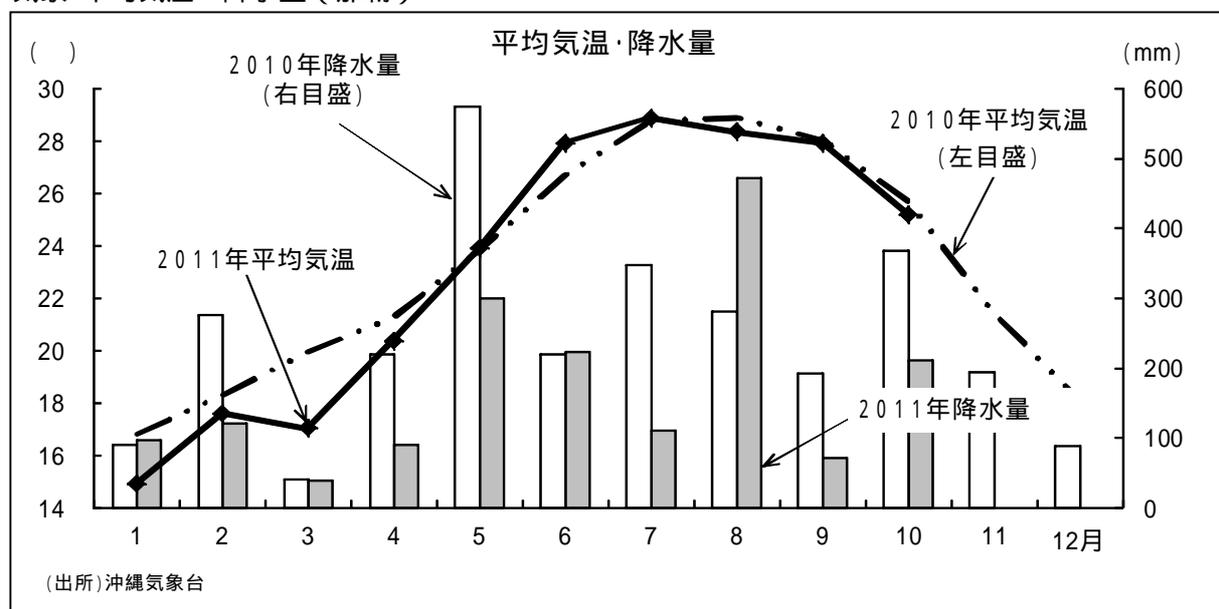
(4) 広告収入(マスコミ): 7カ月ぶりに増加



- ・ 広告収入(マスコミ: 9月)は、前年同月比 0.1%増と7カ月ぶりに前年を上回った。新聞、ラジオは前年を下回ったが、テレビが前年を上回った。

(参考)

気象: 平均気温・降水量(那覇)



- ・ 平均気温は 25.2°Cと前年同月(25.7°C)より低く、平年(25.2°C)と同様であった。降水量は 212.0 mmと前年同月(368.0mm)より少なかった。

沖縄県内の主要経済指標.....	16
〃          金融統計.....	18

## 沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	泡盛 出荷量	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2008	2.1	0.1	2.7	4.5	1.1	4.0	254,597	3.5	1,950.6	5.6
2009	9.4	2.0	0.9	6.7	10.9	3.2	285,283	12.1	1,888.1	3.2
2010	5.2	0.6	0.9	24.0	13.9	5.0	224,019	21.5	1,630.5	13.6
2010 9	1.3	4.7	3.5	13.4	4.1	1.5	31,283	10.7	140.5	7.2
10	5.3	0.8	2.5	18.0	22.8	7.1	25,226	19.6	137.2	6.6
11	0.6	3.7	5.8	49.7	20.8	5.3	17,569	7.2	150.2	7.2
12	1.5	1.9	3.2	17.2	31.9	5.1	12,455	44.0	99.6	42.7
2011 1	2.2	3.0	4.4	5.2	4.8	1.0	15,629	43.3	104.9	8.7
2	0.6	2.4	4.0	8.7	24.0	5.2	18,674	94.9	106.3	26.9
3	6.4	2.3	3.6	0.1	31.6	10.5	41,027	18.1	110.0	15.3
4	3.9	0.4	2.5	3.0	55.8	6.6	13,756	16.7	262.3	119.6
5	3.3	0.5	1.4	5.4	33.7	5.5	6,923	2.2	126.7	18.7
6	5.0	4.0	6.1	9.5	14.0	7.9	11,760	53.7	170.4	23.2
7	11.0	5.1	6.9	1.7	18.9	4.3	22,173	26.6	128.7	30.7
8	5.8	1.6	0.6	16.8	25.8	1.8	22,413	8.0	199.6	10.3
9	0.1	2.4	0.1	15.8	6.6	-	29,021	7.2	129.6	7.7
10	9.6	0.8	1.4	24.6	11.9	-	20,836	17.4	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	酒造連	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 電気製品卸売販売額は、2010年4月より調査先が7社から4社となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合連合会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	入域観光客数		観光施設 入場者数
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千人	前年比	前年比
2008	12,300	13.1	12.1	7.0	6.1	16.4	11.3	6,045.5	3.0	3.1
2009	11,747	4.5	22.1	3.1	0.9	23.1	9.4	5,650.8	6.5	10.9
2010	10,709	8.8	5.8	2.3	7.3	12.6	2.1	5,855.1	3.6	2.7
2010 9	873	9.2	10.1	2.3	5.8	24.8	7.0	550.8	6.9	1.2
10	905	11.4	17.9	10.2	4.7	7.4	9.2	499.5	4.1	7.2
11	1,122	23.4	31.4	7.5	9.3	7.3	17.4	430.9	1.1	2.5
12	871	22.9	53.7	5.3	4.3	8.8	21.9	420.4	2.3	0.9
2011 1	814	6.5	46.9	4.9	9.5	4.8	10.4	406.2	2.9	7.8
2	1,095	29.6	12.4	1.9	3.1	20.2	14.2	430.4	3.7	8.7
3	620	13.3	62.9	0.2	7.7	7.5	49.4	436.9	19.9	21.1
4	1,687	145.6	12.1	8.3	4.2	6.0	16.7	371.5	21.3	24.4
5	574	26.6	8.8	0.1	12.4	4.6	11.8	384.5	17.3	16.5
6	1,151	24.6	29.5	7.9	10.0	4.7	4.8	397.3	7.1	6.9
7	923	20.2	204.1	3.6	4.3	8.7	4.3	506.5	6.7	1.4
8	1,061	0.3	37.2	1.5	2.6	0.6	22.3	600.5	5.5	2.4
9	903	3.4	1.3	11.5	2.9	0.1	13.0	524.8	4.7	2.8
10	-	-	38.8	4.3	2.9	7.8	6.8	522.2	4.5	10.3
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ				沖縄県観光商工部 観光企画課		りゅうぎん 総合研究所	

注) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先が6施設から5施設となった。

## 沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		ゴルフ場 入場者数	広告収入	鉱工業生産指数 (季調値)		電力使用量	
	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	2005年=100	前年比	百万Kwh	前年比
2008	70.7	80.6	1.6	1.0	3.1	4.8	98.8	1.1	3,417	0.9
2009	66.2	70.9	8.6	14.5	1.7	5.0	99.0	0.2	3,392	0.7
2010	68.7	71.2	3.3	3.2	1.8	2.8	-	-	3,395	0.1
2010 9	75.2	87.4	3.3	6.1	10.9	1.1	95.4	1.1	357	3.0
10	66.5	76.6	4.2	6.2	1.1	0.9	91.4	9.2	339	0.3
11	64.7	57.6	2.3	2.6	0.6	3.4	91.5	2.8	299	1.8
12	60.9	51.9	1.3	4.3	0.9	4.7	101.6	5.4	242	2.9
2011 1	65.0	58.3	0.1	2.6	5.8	3.9	97.3	1.0	239	0.0
2	79.2	71.4	0.6	7.5	2.0	1.0	97.5	1.8	223	0.7
3	63.6	58.7	17.1	20.4	7.6	5.5	91.7	10.0	211	3.0
4	47.4	53.3	15.4	18.9	5.3	6.2	97.5	5.3	231	6.7
5	49.6	55.5	19.0	17.2	7.7	6.0	91.1	4.3	237	4.2
6	50.2	62.0	15.7	8.4	0.1	6.7	91.3	3.1	279	0.7
7	63.4	80.9	8.6	2.2	11.8	1.3	98.0	0.8	344	4.1
8	82.4	88.5	16.2	6.3	0.7	4.0	88.0	6.8	362	2.2
9	73.5	86.3	5.7	2.8	3.8	0.1	-	-	343	4.1
10	70.8	76.8	1.0	0.4	8.9	-	-	-	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ					県企画部統計課			電気事業連合会	

注) ホテルは、2010年9月より調査先が18ホテルから19ホテルとなった。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2009年2月より2005年=100に改定された。

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人数 (県内)	通関 輸出	通関 輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2008	98	72,601	584.3	2.2	7.4	1.4	0.38	15.7	81,011	263,656
2009	75	25,070	65.5	0.5	7.5	2.8	0.28	7.5	47,752	182,334
2010	49	11,048	55.9	0.5	7.6	0.8	0.31	13.1	82,119	207,981
2010 9	8	5,042	562.5	0.9	7.9	0.8	0.33	34.2	1,162	16,584
10	5	662	52.1	0.2	8.1	0.3	0.33	11.7	13,460	14,763
11	6	859	62.5	0.2	7.2	2.1	0.33	16.6	2,536	11,498
12	2	450	46.6	0.1	7.7	1.8	0.31	12.1	9,009	25,450
2011 1	6	327	33.9	0.4	7.7	0.6	0.30	11.2	4,430	10,230
2	5	830	36.6	0.0	6.4	1.5	0.31	22.3	2,181	15,495
3	9	919	182.8	0.2	6.0	1.1	0.30	9.4	4,657	19,671
4	5	856	210.1	0.4	6.9	0.0	0.29	6.4	5,340	23,506
5	13	1,260	1,226.3	0.5	7.3	2.6	0.28	16.7	4,542	53,415
6	7	964	4.6	0.8	7.6	3.3	0.28	8.0	3,718	19,619
7	6	6,048	1,001.6	1.6	7.7	2.4	0.28	1.5	4,648	22,877
8	7	670	963.5	1.3	7.3	1.6	0.26	19.1	4,896	22,458
9	8	3,647	27.7	1.1	6.5	1.3	0.27	3.3	11,145	17,846
10	5	285	56.9	0.5	-	-	-	-	3,398	25,010
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2011年7月より2010年=100に改定された。

注) 失業率は、2010年5月より原数値から季節調整値に変更し、遡って掲載した。

## 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2008FY	3,246	4,610	1,349	2.519	357	12.5	5,416	16.3	2,200	0.406
2009FY	3,124	4,330	1,203	2.435	325	8.8	4,889	9.7	1,206	0.247
2010FY	3,411	4,464	1,052	2.403	305	6.1	4,627	5.4	530	0.115
2010 9	314	497	183	2.411	25	4.6	399	0.8	33	0.082
10	290	377	86	2.413	22	10.1	340	6.0	27	0.079
11	261	375	113	2.411	27	4.3	375	8.2	81	0.217
12	579	218	361	2.403	25	6.8	321	16.8	25	0.079
2011 1	123	543	419	2.399	24	2.7	355	3.6	30	0.084
2	236	331	94	2.386	23	3.7	335	6.6	69	0.205
3	294	393	98	2.361	27	13.1	470	6.5	104	0.222
4	331	247	84	2.377	22	16.0	372	17.2	31	0.082
5	156	480	323	2.371	28	7.3	454	13.5	42	0.092
6	250	287	37	2.367	25	7.8	392	0.0	33	0.084
7	233	310	76	2.364	23	7.0	313	3.1	31	0.100
8	248	407	159	2.358	28	4.8	440	6.2	52	0.118
9	207	342	134	2.344	24	4.3	428	7.4	36	0.084
10	-	-	-	-	24	5.9	349	2.6	31	0.089
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2008FY	32,831	1.8	27,035	1.7	47,297	2.1	11,156	4.4	1,792	47.0
2009FY	35,626	8.5	27,551	1.9	49,543	4.7	10,677	4.3	2,204	23.0
2010FY	38,117	7.0	27,573	0.1	52,331	5.1	10,019	6.8	2,094	5.0
2010 9	36,975	6.3	26,951	0.9	50,865	4.6	10,272	4.0	2,114	2.0
10	36,237	6.6	26,497	0.6	50,100	5.0	10,215	4.4	2,111	1.0
11	36,626	6.7	26,553	0.5	50,372	4.5	10,150	4.6	2,097	0.3
12	36,488	6.1	26,656	0.8	50,237	4.0	10,081	4.9	2,110	1.4
2011 1	36,442	6.7	26,671	0.5	49,805	4.2	10,009	5.0	2,088	3.0
2	36,887	6.7	26,990	0.2	50,198	4.3	9,956	5.3	2,073	4.1
3	38,117	7.0	27,573	0.1	52,331	5.1	10,019	6.2	2,094	5.0
4	38,580	8.4	26,615	0.4	52,463	5.3	9,951	6.1	2,044	5.7
5	38,946	8.6	26,554	0.2	52,770	5.7	9,890	6.1	2,003	5.6
6	40,223	9.6	26,663	0.3	54,785	6.6	9,783	6.2	1,987	5.6
7	39,405	8.7	26,515	0.4	54,399	7.1	9,754	6.3	1,969	6.2
8	39,427	8.3	26,526	0.1	54,092	7.1	9,709	6.3	1,955	7.5
9	40,177	8.7	27,137	0.7	-	-	9,680	5.8	1,952	7.7
10	39,369	8.6	26,633	0.5	-	-	-	-	1,950	7.6
出所	琉球銀行		琉球銀行		日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) Pは速報値。